

## 保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）

担当 田辺

公表：令和3年4月 日

令和2年度

事業所名 児童発達支援事業所 ながかみ

保護者等数（児童数）10

回収数 7

割合 70%

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	7				きれい、整頓、明るい 快適な環境にしている。 広々としている園庭、施設です。	
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	6	1				
	③	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	6	1				
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境となっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	7				いつもきれいに掃除され ていて清潔感がある。 日当たりのよい明るい園庭です。	
適切な 支援の 提供	⑤	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	5	2				
	⑥	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	6	1			子どもが生活していく上で 何が必要かを考え、適 切な指導もしている。	
	⑦	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	6	1				
	⑧	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	5	2			季節に応じた活動など 工夫を凝らして行われて いる。	
	⑨	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	6	1				
保護者 への 説明等	⑩	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	6					
	⑪	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	5	2				
	⑫	保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）が行われているか	6		1			

	⑬	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	7				毎日子供のその日の様子をきくことかできるのその日の状況に応じた柔軟に対応してあげる。
	⑭	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	6	1			日々問題が不安がある時はその日やそのアドバイスもあげる。
	⑮	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	3	2	1	1	コロナのため保護者同士の交流の場が減少していると思うので、コロナの対策活動がはじまるのがいい。
	⑯	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	7				来場も戻らないような子供の変化を察してあげるの相談しやすい。
	⑰	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	6	1			子どもだけで対応するのとコミュニケーションをしっかりとっている。
	⑱	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	6	1			
	⑲	個人情報の取扱いに十分注意されているか	7				
非常時等の対応	㉑	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	7				
	㉒	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	7				
満足度	㉓	子どもは通所を楽しみにしているか	6	1			家では通所しない経験もできるとのやりとりを楽しんでいる。
	㉔	事業所の支援に満足しているか	7				子どものことをしっかりと見て、その指導のおかげで子どもが増えたので満足している。

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。

ご意見の書ききれなかったものです。

⑭ たくさんアドバイスいただい参考になりました。

事業所における自己評価結果（公表）

別紙3

令和2年度 担当 田辺

公表 令和3年4月 日

事業所名 児童発達支援事業所 下川かみ

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	3			
	②	職員の配置数は適切である		3	過誤にはついても配置は1人増員して、休めかたはいい。	
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	3			
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	3		子どもの年齢や発達に合う活動を取り組んでいる。	
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	3		書面だけでなく口頭で伝える。個別支援計画の作成の題で行っている。	
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	3			
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	2	1		
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	2	1		
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	3		本人が望んで研修の時間がある。	
適切な支援の提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	3			
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	3			
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	3			

関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	3		職員が意識して開かれる 物を作成して支援している。	
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	3			
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	3		月毎の700プログラムを 作成している	
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を 適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成 している	3			
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、そ の日行われる支援の内容や役割分担について 確認している	3		時間の確保と意識提供 時間前にコミュニケーションと ることもある。	
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、そ の日行われた支援の振り返りを行い、気付いた 点等を共有している	3			
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支 援の検証・改善につなげている	3			
	20	定期的にもモニタリングを行い、児童発達支援計 画の見直しの必要性を判断している	3		6ヶ月毎に行っている	
	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい 者が参画している	2	1		
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や 関係機関と連携した支援を行っている				
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害 のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等 の関係機関と連携した支援を行っている				相談支援センターのみ
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害 のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制 を整えている				
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚 園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支 援内容等の情報共有と相互理解を図っている	3			
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小 学部)との間で、支援内容等の情報共有と相 互理解を図っている	3			かけはしシートを使用し 共有方法を 行っている
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事 業所、発達障害者支援センター等の専門機関 と連携し、助言や研修を受けている	3			2ヶ月に1回事業所 連絡会に出席し 連携をとっている
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、 障害のない子どもと活動する機会がある	3			ほかほか保育園児と あそぶ環境は一緒

	㉘	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している		3		
	㉙	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	3			
	㉚	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている		3		
保護者への説明責任等	㉛	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	3			
	㉜	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	3			
	㉝	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	3			
	㉞	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	3			
	㉟	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	3			
	㊱	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	3			
	㊲	個人情報の取扱いに十分注意している	3			
	㊳	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	3			
	㊴	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	/	2		
	非常時等の対応	㊵	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	3		
㊶		非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	3			
㊷		事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	3			